

シグマ研究委員会

昭和59年度 第6回運営委員会議事録

日 時 昭和59年12月21日（金） 13：30～17：00
場 所 原研東海研 研究2棟221号室
出席者 原田（委員長，原研），楢山（東北大），中嶋（法大），
村田（NAIG），五十嵐，菊池，長谷川，松浦（原研）
オブザーバ：鹿園，浅見（原研）

配布資料

1. 前回の運営委員会（59.10.19）議事録（案）
2. シグマ研究委員会，会合開催及び旅費使用状況
3. Malaysiaからの手紙（写し）
- 3' Dr. Cai Dunjinからの手紙（写し）
4. Neutron Nuclear Data Evaluation Newsletterの受取人変更について
5. Japanese List for INDC Document Distribution
6. NEANDC "A" Distribution
7. 荷電粒子核データについての会合議事録
8. 科学研究費による活動
9. 核データ専門部会全体会合議事録（案）
10. 炉定数専門部会

議 事

1. 前回議事録確認
資料1により確認を行い，一部修正の上で了承された。
2. 事務局報告
 - (1) 入手資料の紹介
 - (2) 資料2によりシグマ委の旅費使用状況及び会合の開催状況について報告

があった。

(3) NEANDC のアンケート調査についての説明があった。

(4) 核データ研究会報告

五十嵐氏から研究会以後の中国との連絡、中国からの返事(資料3') マレーシアからの連絡(資料3) などについて報告があった。また、原田氏から研究会に中国が来られなかった事情とともに来年度の対処方について説明があった。

研究会の会計報告が浅見氏から行われた。

3. Neutron Nuclear Data Evaluation Newsletter 受取人の改訂について

五十嵐氏から、現在のリストは実状に合わないので資料4のように改訂したいとの提案があり了承された。

4. INDC・NEANDC documents の受取人の改訂

五十嵐氏から資料5のように改訂したいとの提案があり了承された。

5. 理研委員会報告

五十嵐氏から資料7を用いて理研の荷電粒子核データの会合についての報告があった。その中で、IAEAで行われたNRDCテクニカルミーティング、理研で行う医学に利用されるRIの生成反応断面積・収率のデータベースの作成等についての説明があった。

6. 大学関係活動報告

梶山氏から、資料8により、科研費で行っているエネルギー特別研究の計画、現状について説明があった。

7. Santa Fe 会議

来年5月に行われるSanta Fe会議に、核データ関係で日本から出す論文出席予定者等について関係者から情報の紹介があった。

8. 1988年核データ国際会議等について

原田氏から、1988年の国際会議を日本で開くについて、五十嵐氏と科技庁へ行って説明し、非公式の了承を得た。出来るだけ早いうちにINDCとNEANDCのchairmanへ手紙を出すことにしたいとの話があった。五十嵐氏

からも補足の説明があった。

また、過日の核データ研究会を振り返って討議を行い、次のような意見が出た。

- 各講演ともよく整理されていて非常に良かった。
- 今後、Advisory Committeeに中国の人を入れたらどうか。
- 準備委員を早く決めておいた方がよい。
- 日程を早く決めておいた方がよい。

これにもとづき来年度の核データ研究会を11月12日（火）、13日（水）、14日（木）に開催する予定とし、なるべく早く準備委員会を発足すること、その委員長には五十嵐氏が当ることにした。

9. 学会特別会合

春の原子力学会の特別会合のテーマについて討議を行い、次の3点が候補に挙げた。

- (1) 武蔵工大の activities (担当世話役：梶山氏)
- (2) 臨界安全 (" : 松浦氏)
- (3) トリウム (" : 梶山氏)

各世話人からの情報を1月9日までに五十嵐氏がまとめ、村田氏に連絡して1月12日のプログラム編成委へ持ち込むことにした。

10. 専門部会活動状況

(1) 核データ専門部会

菊池氏から資料9により核データ専門部会の全体会合ならびに各WG・サブWGの活動の概要について説明があった。これに関連して、現在作成中のFPファイルとJENDL-3との関係、ガンマ線生成データのベンチマークテストのスケジュール等について質疑応答があった。

(2) 炉定数専門部会

長谷川氏から資料10を用いて、JENDL積分評価WGと核融合炉・遮蔽定数WGの活動の現状について説明があった。これに関連して、計算方法の改良の余地、ベンチマークテスト結果からの核データの検討の可能性等について質疑応答があった。

(3) 核構造・崩壊データ専門部会

中嶋氏から専門部会内の各WGの活動の概要について説明が行われた。これに関連して、崩壊熱計算で問題になっているFP核種のデータについての最近の情報、医学用原子分子・原子核データWGの作業の進捗状況等について質疑応答があった。

11. その他

村田氏から、核データ活動の情報として、放医研で計画中のシンクロトロンの紹介があった。

次回は1月28日（月） 午後東京で行う予定。